

藤井浩人TIMES

— 未来への挑戦 — Vol.4



藤井浩人の主な活動

天皇陛下がご退位され、皇太子さまが即位されることに伴い、いよいよ私たちが慣れ親しんだ「平成」から「令和」へと元号が改められます。前回の発送後には多くの支援者の皆様からご支援をいただき、今回も平成最後となる「藤井TIMES」第4号をお送りさせていただきました。心から感謝申し上げます。

前回に引き続き私事ではありますが、昨年12月に父親となることができました。妻の実家に近い、岐阜市の病院にて2902gの男の子が生まれました。まだ数ヶ月ではありますが、家族や子育てと向き合うことで、今までは見聞きすることで想像を膨らませていたことから、実体験としての楽しさや苦労などたくさんを感じることができています。首も座りはじめ、市内のイベント等にも出かけることができるようになってきました。また皆様にご挨拶させていただけることを楽しみにしています。



また先日、統一地方選挙が行われ美濃加茂市においては、市議会議員の時より大変お世話になっております小川恒雄県議が5期目の当選を無投票で果たされ、議長就任の見通しが伝えられました。現在は、市、県、国が連携して取り組まなければならない課題が多くあります。皆様には引き続き、私たちの生活と密接につながっている市政や県政そして国政に関心を持っていただき、ご意見、お力添えをいただきたいと思います。

前回、発送手続きに誤りがあり、お届けできていない場合が御座います。その際はお手数ですが、事務局までご連絡いただくと幸いです。また、新たにお届けご希望の方がいらっしゃる場合も事務局までご連絡いただくと有難いです。(会費は必須ではありません。活動にご支援いただける方からの個人献金をお願いしております。)

発行：藤井浩人同志会

〒505-0041 岐阜県美濃加茂市太田町1792-1

TEL 0574-25-1937 ホームページ：<http://hiroto-fujii.jp/> E-mail：fujii.doshikai@gmail.com

4年半の活動報告

在任中の活動報告や、日々の活動を通じて感じたことを分野ごとに毎号行っています。今回は「市役所の在り方」についてです。「市役所」というと建物をイメージされる人と、行政としての機能と市長をトップとした組織をイメージされる人がいらっしゃると思います。現在、伊藤市長のもと進められ、議会でも議論されている「新庁舎整備基本計画」が策定中ですが、その「市役所」について、私が市長時代に取り組んできたことと、その想いをご紹介します。

これからの時代、無駄な箱物にお金や時間を費やす余裕はなく、何よりも「人」がどう生きるかが大切です。そのために、まずは人材や技術、情報、意識といった無形の「ソフト」に力を入れていくことが第一優先であり、「ソフト」の力を発揮するために建物や施設といった「形」ある「ハード」を整備するということが重要だと考えて取り組んできました。

その中でも特に重要視した、『現場主義・現場で勝負』、『市民目線と先端技術の導入』の一端を記します。

『現場主義』は、私自身の活動方針でもありますが、行政としても市民の皆さんが抱える課題や不安、悩みなどが聞こえてくるのを待つのではなく、職員が最前線に出て、問題を認識し、市民の皆さんと一緒に考え、問題の解決やまちづくりをしていくことが必要ではないかと考えていました。例えば、縮小されつつあった連絡所での業務や権限を見直し、各地域を育めるような「まちづくり」を託しました。また「ソフト」として、いくつもの部署には積極的に役所を飛び出し、現場に出て行くことをお願いし、「ハード」として「まちづくり課」を山之上に設置しました。

現在はスマートフォンやパソコンで瞬時に情報をやり取りし、人が一堂に会さなくても会議ができたり、人と人とのコミュニケーションが可能な時代になっています。市として大切なことは、市民の皆さんと一緒に現場に立ち、課題を解決していくことです。大きな建物にプロである職員を仕舞い込んでおくのではなく、職員も市民もフレキシブル(柔軟)に動けるような体制が必要だと考えています。

「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」これは武田信玄が大切にしていた言葉です。ハードの前に、役所のあるべき姿、市民の皆さんが行政に求めることは何か、どうすれば皆さんと職員が力を合わせて汗を流すことができるのかを、皆さんと一緒に考え、共通の認識を持つことが大切なのではないでしょうか。

もう一つ、『市民目線と先端技術の導入』は、市役所の仕事として政策を作って実現することに脚光が当たりがちですが、最も大切な業務は市民の皆さんの情報を正確に管理し、手続きを正しく行うことです。しかし、これらは厳格な業務ゆえに市民目線での利便性が追求しづらいということも目の当たりにしました。

しかし、書類で管理していた時代から、データで管理する時代へ変わろうとしています。順番待ちをして、時間をかけ、直接手続きをする方法から、インターネットでのやり取りで手続きが完了できることが、非常に多くなってきました。今では住民票をコンビニで取れる自治体も増えており、時代は刻々と変化しています。

世界に目を向けると、すべての手続きを自宅や職場からインターネットで行い、市役所などに一切出向く必要のない「電子国家」と呼ばれている国が世界をリードしています。市役所に行って書類を受け取る時代は間もなく終わるでしょう。そのような時代に、市役所としての広い窓口や大きな駐車場は必要でしょうか？インターネットが使える人は自宅や移動先から手続きを行い、難しいことや分からないことがある人は身近にある連絡所で気軽に聞けるという環境の方が無駄な時間もかからず、より便利ではないでしょうか。今の時代の最適ではなく、将来を見据えながら責任を持って対応していくことが大切だと考えています。私たち大人こそ、未来に責任を持ってしっかりと勉強し、知識を蓄え、20年後、今の子どもたちが大人になった時に「時代を先取りしていたね」と言ってもらえるような展望を持って考えていけたらと思います。

他にも、外部人材の登用や、人材交流、若者委員会設置など、ご紹介したい取り組みもありますが、また別の機会にご紹介できたらと思います。なお、よくテレビや報道では、いまでも「公務員給料削減!」、「無駄遣いを減らす!」ということが取り上げられ、市長選などのテーマとなっている地域もあります。私の市長就任当時にも、内情を詳しく知らない方から「公務員批判」や「市役所の改革」が、私にいくつも届けられたことを記憶しています。

当然、常に見直しやチェックを行わなければいけません。美濃加茂市の場合、市役所の行政改革、財政改革は渡邊直由市長時代に先進的に行われており、給与削減、ISOの取得など他市と比較しても非常に高い水準でした。そして、その改革があったために美濃加茂市は借金残高が着実に減り、私も市長として未来に向かって政策をつくることができました。

「市役所の場所」についてお話を伺う機会が多くなりました。確かに、「場所」の議論も大切です。しかしそれ以上に、未来を見据えた時、将来の美濃加茂市にどのような思いを込め、組織・機能としての「市役所」がどのような姿であるべきなのか語られることは少ないのではないのでしょうか。皆さんと未来を想像しながら、知恵を絞り、話し合い、子どもや次の世代に、胸を張って渡せるようなものにしなければなりません。



大人の社会見学参加者募集のご案内

日頃は藤井浩人の活動や後援会活動にご協力を賜り、ありがとうございます。この度「大人の社会見学」と題しまして、藤井浩人前市長との日帰り研修旅行を企画いたしました。ご興味ある方はぜひご参加下さい。

○日時:2019年6月3日(月) 午前9時集合 9時10分出発

○旅行行程(予定)

ぎふ清流里山公園→航空自衛隊岐阜基地(見学と昼食)→各務原航空宇宙博物館→ぎふ清流里山公園

※見学施設の都合で行先が変更になる可能性がございます。ご了承下さい。

○集合場所:ぎふ清流里山公園(旧日本昭和村)

○参加費:5,000円(昼食代・各所入場料込/基地内の食堂で食事させていただきます。)

○定員:40名

○お申込み方法:5月13日までに、下記までご連絡下さい。

090-5870-8062:藤井康子

今回は基地見学のため、お申込みの際に、参加者のお名前、ご住所、ご連絡先、生年月日をお聞きしますので予めご用意下さい。

※見学施設の関係で、定員は40名とさせていただきます。先着となりますので、お申込みの際は必ずご連絡を下さい。

藤井浩人同志会より御礼

前回の藤井浩人TIMESにて献金のお願いをさせていただいたところ、たくさんの方にご協力いただき、誠にありがとうございました。今後の藤井TIMES発行や、政治活動の資金として大切にご活用させていただきます。引き続き個人献金は募集しておりますので、藤井浩人の政治活動にご理解、ご賛同いただける方はよろしくお願ひします。

【お振込み先】

大垣共立銀行 美濃加茂支店 普通992000

藤井浩人同志会 代表者 藤井浩人 1口 3,000円より

現在の政治資金規正法では、藤井浩人同志会が企業・団体献金を受けることは禁止されております。また、政治家個人への寄附は認められていないため、藤井浩人同志会(政治団体)が、皆様から頂戴した献金をもとに藤井浩人を支援致します。そのため、ご寄付いただいた際には、お礼と領収書の発行などがございますので、藤井浩人のホームページよりご連絡いただくか、下記メールまでご連絡下さい。

【メール】fujii.doshikai@gmail.com

【藤井浩人同志会事務局】 渡辺 090-7671-4252

藤井浩人同志会へ入会いただける方、「藤井浩人TIMES」配布ご希望の方、ご献金いただける方は裏面のEメールアドレスへご連絡下さい。